

科目名 Course Name	社会学と社会システム Sociology and Social Systems			ナンバリング No.	I1-005		
年次	1 年	期別	前期	単位数	2	授業形態	講義
担当者氏名	大熊 信成						
連絡方法	C-Learning で対応。 または福祉棟 3F 研究室。 オフィスアワーは授業担当時間以外。						
必修/選択	選択(社会福祉士国家試験受験資格取得必修)						
関連 DP	DP2、DP3、DP5						
授業の概要と 到達目標	<p>人間科学の一つとして、社会学の基礎的知識を修得する。そのために基礎的な社会学説を取り上げ、歴史的な社会学の理解を深める。その上で現代社会や社会問題の特質、人と社会の関係性、生活の特徴等について学ぶ。</p> <p>① 社会理論による現代社会の捉え方を説明できるようにする。 ② 生活について説明できるようにする。 ③ 人と社会の関係について説明できるようにする。 ④ 社会問題について説明できるようにする。</p>						
授業の方法	基本的に講義形式で行うが、リアクションペーパーを実施し、グループ討議での振り返りを行う等アクティブラーニングの技法を取り入れる。また必要に応じて小テストを実施するとともに社会福祉国家試験対策も行い、知識の定着を図る。						
学習成果	L01						
	L02	現代社会を捉え、現代社会を論じることができ、人々の様々な生活について説明できる。					
	L03	人と社会の関係について明確に述べる事ができ、現代社会における様々な社会病理現象について列挙できる					
	L04						
課題に対する フィードバック	毎回の授業でリアクションペーパーを実施する。リアクションペーパーは振り返りを行い全員でシェアをする。また試験対策を行い、授業内で解答・解説を行う。						
教科書/ 参考図書	『社会学と社会システム』弘文堂 他 授業中に指示し、資料を配布する。						
履修上の留意点 やルール等	一部視聴覚教材を使用し、内容をレポートで確認する。目的意識・課題意識を明確にして授業に臨み、口頭で述べたこともきちんとノートにとること。遅刻・早退・私語・居眠りは厳禁。事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 180 分とする。社会福祉主事任用資格に係る科目である。						
担当教員の実務 経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	授業への積極的参加を評価する。個人ワークを自主的に行い、明確な課題意識をもって授業に臨むことができる。これらを総合的に判断する。		20		
レポート/作品	提示するテーマについて自分の言葉で述べる事ができる。最高評価である S は意欲的に課題に取り組んでおり、着手すべきテーマの趣旨に沿っていて、学習の成果が十分に示されている。		20		
発表					
小テスト					
試験	論述、選択記述式の定期試験を行い、評価する。論述は根拠(エビデンス)に基づき自分の言葉で述べられていること。			60	
その他					
合計			40	60	

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス(授業の進め方、留意事項、成績評価等) 現代社会について
	事前・事後学習	現代社会について自己の体験を踏まえノートにまとめておくこと。
2	授業内容	社会学の歴史的展開 その生成と展開①
	事前・事後学習	社会学の著名な研究者について調べておくこと。ノートにまとめておくこと。
3	授業内容	社会学の歴史的展開 その生成と展開②
	事前・事後学習	社会学の定義について調べておくこと。ノートにまとめておくこと。
4	授業内容	社会システムの問題 システム理論とは
	事前・事後学習	システムについてテキストを参照にしてノートにまとめておくこと。
5	授業内容	日常生活と相互行為 行為と何か
	事前・事後学習	行為について自己の体験を踏まえまとめておくこと。相互行為についてノートに記載すること。
6	授業内容	社会的行為と他者理解
	事前・事後学習	社会的行為についてテキストを参照にしてノートにまとめておくこと。
7	授業内容	社会生活と社会集団 レポート「集団とは」提出は第8回の授業日
	事前・事後学習	集団について調べておくこと。レポートを作成すること。
8	授業内容	社会集団類型
	事前・事後学習	集団について分類し、ノートにまとめておくこと。
9	授業内容	現代家族の変容とその課題
	事前・事後学習	家族について定義を調べておくこと。
10	授業内容	法と社会システム・経済と社会システム
	事前・事後学習	法と社会システム・経済と社会システムについてテキストを参照にしてまとめておくこと。
11	授業内容	組織と官僚制・社会構成・生活構造
	事前・事後学習	組織についてテキストを参照にしてまとめておくこと。
12	授業内容	ジェンダーについて
	事前・事後学習	ジェンダー論について調べておくこと。ノートにまとめておくこと。
13	授業内容	都市化と地域社会・人口構造と問題・情報と国際化
	事前・事後学習	都市と農村社会についてその違いについてまとめておくこと。
14	授業内容	社会政策・社会計画・社会福祉
	事前・事後学習	社会政策・社会計画・社会福祉の関連性についてまとめておくこと。
15	授業内容	社会問題と社会学 ～現代社会の在り方について考える～
	事前・事後学習	現代社会のあり方について自己の意見をまとめておくこと。試験対策を行うこと。